

月	日	年	組	番	名前
---	---	---	---	---	----

チャレンジ 友達と話し合い、新たにわかったことや友達の意見をメモしよう。

- ① 記事で伝えたい内容の中心となる文章に線を引こう。
- ② 関心を持ったことや感じたことを書いてみよう。

まちの歴史、面白さ発信しますー。岡山市北区奉還町エリアを題材にした手作りかるたが完成した。おかやま県民文化祭の関連事業で、市民らがまちを散策して見かけ

た風景や古い写真などを参考に読み札と絵札を考えた。奉還町商店街の店舗などに置くほか、各札をブラッシュアップしたうえでの販売も検討している。(平田亜沙美)

奉還町 かるたで分かる



岡山市北区奉還町エリアを題材にした市民らの手作りかるた

歴史や風景楽しく 販売も検討

かるたは計45セット。散策 わせても大丈夫かしら三十年で旧町名「新和町」を見つけ 超え古看板」「あまどいはまたこと考察した「きゅう町 つすぐ降りるとはかぎらな名がわかる赤い消火器ボックス」といったユニークな風景ス」、古い壁に目を付けた「ス」を切り取ったものもあり、内クラッチタイプは昭和の香 容はさまざまだ。

り」など、歴史を感じさせる 飲食&イベントスペース札がある。一方で、「といあ 「奉還町4丁目ラウンジ・カ

県民文化祭事業で市民ら手作り

地域の魅力発見などを狙いに企画した。参加者を募集したうえで、10月中旬から11月下旬にかけて計4回のワークショップを実施。岡山、倉敷市などの計約30人がエリアを歩いたり、地域住民の話を聞いたりしながら、読み札や絵札の制作に取り組んだ。

かるたは、管理する同スペースの開業時間(金〜日曜午後4時〜9時)であれば、実際に見て遊ぶこともできる。今後かるたは複製する計画で、商店街の店舗に配布。販売に向けては、各札に関係する場所や年代などの説明文を付けることを考えているという。

同スペースの成田海波店長(30)は「一つ一つの札に込められた物語を想像したり、今はない物に思いを寄せたりするだけでも楽しいはず。奉還町に興味を持ってもらおうツールとして活用したい」と話している。

SAMPLE